

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期														参考文献
15	アカハラ Turdus chrysolaus	スズメ目 ヒタキ科 ツグミ亜科	橙色の脇腹をした、梢でさえずるカラマツ林の主役。本州中部以北の山地で普通に繁殖し、冬期は山麓や暖地に移動する。四国や中国地方の山地でも繁殖している可能性があり、今後の確認が待たれる。国外では、サハリンと南千島だけで繁殖する。	明るい林や木がまだらに生えた環境を好み、カラマツ林や草原と林が接するような所に個体数が多い。つがいで縄張りを持ち、オスは木の梢で早朝から大きな声でさえずる。木の枝の上に枯れ茎、樹枝などで椀形の巣を作る。冬期には人家付近にも現れ、地上で落ち葉をはねのけて小動物を捕まえる。木の実を好み、枝に残ったカキの実をついばんだりする。	朝早くから夕方遅くまで華やかにさえずる。「キョロンキョロン、チリリ」と聞かれる声でさえずるが、その他にも「ホイチョー、チリリリ」とか「キッキッキロン、キョロン、チー」と変化が多い。地鳴きは「ツイー」と鋭く、飛び立つ時には「クワックワツ」と鳴くことが多い。	胸と脇の橙色が特徴でメスはやや色が淡い。メスには眉斑がでることがあり、マミチャジナイとまぎらわしいが、マミチャジナイの眉斑ははっきりと白く、頭に灰色味がある。	山地	・	・	・	4	5	6	7	8	9	10	・	・	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社	
							暖地	1	2	3	4	・	・	・	・	・	10	11	12		